

西中だより

平成28年度 No.22
平成28年11月25日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 西中生、文化面でも大活躍! &&&

- 運動面に負けず文化面でも生徒達は様々な分野で活躍していますので、ご紹介します。

【岩瀬地区書写コンクール】<敬称略>1年:「推薦」石塚大智、福島睦生、北畠 空、星 拳翔
2年:「書写研究部長賞」齋藤 茜、「推薦」新井木乃香、鈴木穂乃花、中本陽菜、遠藤祐人
3年:「岩瀬教育研究協議会会長賞」石塚 光、「推薦」掛谷憩奈、樽川みずき

【須賀川税務署長賞受賞】:佐藤 紘樹(2年)題「税に助けられている生活」

【岩瀬地区造形作品展】領域「デザイン」:「特選」(1年)山中心彩(ハスの池)、伊藤由花子(あっぱれ!)
箭内優羽(藤の海)、(2年)水野かなえ(傘はばらばらに置くの禁止)、鈴木杏奈(理科室)、佐久間桃
(水道)・領域「絵画」:「特選」(3年)佐藤千尋(listen to me)、掛谷憩奈(不思議の国の私)、阪路
夏実(モネと世界と私)、鈴木理代佳(いろいろな自分)、佐久間壱成(見つめる人)、黒森柚衣(音符の
世界)、水野竜牙(ほおに手をあてる自画像)、佐藤佑吾(15歳の自分)・領域「工芸」:「特選」(2年)
野村寧音(カラフル)、小林将道(うず)、須釜 心(Cute)、和田歩海(星)、船ヶ山悠斗(芽生え)、
五十嵐麻衣(ひまわり)、齋藤 茜(美しい夜空)、橋本いつき(桜のコースター)、磯貝樹梨(虹)、矢
内楓佳(和-なごみ)、伊藤愛華(ねことけだま)、横田 楓(木目)、山本優衣(花のようなくも)、鈴木
茉奈(かまぼこのキズ)

【第62回福島県発明展入賞】

- ・国立研究開発法人産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所長賞 阿部蓮叶(2年)
作品名「楽々ハンガー」
- ・ラジオ福島社長賞 有賀美沙希(2年)作品名「ついてくるしおり」

【未来ロボットアイデアコンテスト入賞】

- ・優秀賞:グループ名「鳥友」(メンバー:根本未那美、福田 凌、渡辺開登、小林佑羽、渡辺珠里)
この賞は県第2位に相当するそうです。アイデア名は「ゴミ鳥」です。

\$ # 今、学校では・・・「1・2年生部活動の様子を紹介」# \$

- 新人戦も終わり、冬休みを前にしたこの時期、2年生を中心とした各部活では、冠杯や各種コンクールに向けて毎日一生懸命練習に取り組んでいます。今回は「野球部、ソフトテニス部、サッカー部、特設陸上部」について、活動の様子を写真で紹介합니다。寒さに負けず頑張っています。



《 校長のつぶやき 》・・・ 校庭を走る姿に感じたこと ……

- 毎朝、本校の校庭では来年度の駅伝大会を目標に、また各部活動の体力向上のために、多くの生徒が走っています。一人一人の走る姿をよく観察すると様々な成長した姿に気がきます。「フォームが良くなった者」「表情が逞しくなった者」「全身に勢い、活気が出てきた者」などです。「継続は力なり」と言われますが、何かを続ける時に伴う辛さや苦しさなどを乗り越えて、生徒達は確実に日々成長しています。また、集団だからこそ可能なのかも知れません。一人では難しいことでも、皆で取り組むことで可能になることがあります。集団の中では、友達と励まし合ったり、競い合ったりしながら練習を通して、先輩と後輩がコミュニケーションを培っていくのです。
- さて、福島駅伝に本校3年生の橋本尚幸君が出場しました。彼は一時期、脚を痛めて思うように走れず辛い期間をじっと我慢していました。大会が近づくにつれて、校庭で1・2年生と一緒に走る姿が多くなりました。復活した走りからは、何か今までの彼とは違った力を感じました。一番成長を感じたのは、落ち着いた態度と力強い眼力です。辛い時を乗り越えた者だけが身に付けた、自信なのかも知れません。須賀川市チームは全員の頑張りで総合6位でした。橋本君は、第8区(4.1km)を走り、見事区間第3位でした。素晴らしい復活を遂げました。